

平成19年度第1回磯子区地域福祉保健計画推進委員会議事録

開催日時	平成19年5月24日（木）午後6時30分から午後8時05分まで
開催場所	磯子区役所 401・402号会議室
出席者	<p>委員：佐藤委員・上杉委員・鈴木委員・濱田委員・福士委員・水越委員・櫻井委員・関野委員・石塚委員・中里委員・時任委員・矢野委員・佐々委員・野田委員・平野委員・三浦委員 米尾委員</p> <p>事務局：守屋区長・宇賀神センター長・高柳部長・泉課長・原課長・林課長・原田係長 伊東職員・小先職員・山口職員</p> <p>（区社協）矢崎次長・山居職員</p> <p>（ケアプラザ）向井所長（根岸）・楠田職員（磯子）・杉浦職員（屏風ヶ浦）・岸本職員（新杉田）・大久職員（洋光台）</p>
欠席者	小島委員・外村委員・三澤委員・岩瀬委員・大平委員
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦委員長あいさつ ・区長あいさつ ・委員交代（濱田委員）あいさつ ・区役所 異動新職員あいさつ <p>1 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」18年度の取り組みについて</p> <p>（1）地区別取り組み報告</p> <p><質疑応答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉田地区で高齢者の健康づくりを1年半実施している。実施しながらこの活動内容で本当に良いのか？法律の問題や地域への浸透などいろいろと考えていかなくてはいけないと思っている。スイッチ ON の計画書を見ると、10地区中8地区で高齢者テーマの取り組みがあがっている。各地区によって取り組みが違うと思うので、年に1度くらい意見交換や情報交換の場をもち実施すれば広がっていくのではないかと。 →すぐに結論の出る問題ではないが、方向性を考えていくにあたり情報交換の場をもてるかどうか、事務局の考えはいかがでしょうか。 →まだ始めて1年。もう少し取り組んでいけば良いのではないかと。地域によっては地理や生活環境の問題もあり、まとめていくのは難しい。もう少し各地区で実践を積み上げた上で考えても良いのでは。健康づくりは各地区で実施している。その良いところを取り入れ、杉田地区でも山の上や下など地区特性を考えて取り組んでいけば良いと思う。 →同じ事を何度も繰り返している。何かないかと探している。昨年よりも今年、今年よりも来年と進歩していきたい。 ・ 根岸の取り組みで、子どもたちの描いたポイ捨て禁止やあいさつの作品を地域に貼り出したのは良いが、現実の受け止めとしては、「うちのマンションではこういう事がないのに何で貼るのか・・・」とはがされたり、地域の防災訓練で中学生が避難場所の案内役として活動したが、訓練の流れの中では、早く終わらせてほしい・・・と。現実の中ではいろいろな問題があるが、続けることでハードルを越えていかなくてはいけないのではないかと考えている。継続が必要！

- 資料3の地域支えあい事業のひとり暮らし高齢者と高齢者世帯の意味するものは何か？また、世帯数が少ないように思うが、地域にこれだけの数のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯しかいないのか？世帯数の意味を教えてください。
→区内の一人暮らしと高齢者世帯全数を示しているわけではない。訪問指導員の定期訪問を希望し受け入れている世帯の計上となっている。
- スイッチONの認知度がまだ低い。認知度を高めると地区の活動も高まるのではないか。
- サロンを開催しているところでの意義と課題を教えてください。
→滝頭地域ケアプラザでは滝頭地区と岡村地区を担当している。滝頭地区ではサロン滝さんを年2回開催し、毎回120名規模の高齢者が集まっている。三味線や尺八のボランティアの演奏を楽しみにしている。また滝頭保育園と東滝頭保育園の園児との交流を行い、高齢者がいきいきととてもよい表情をしていた。今後も多世代交流を考えていきたい。岡村地区は土地の立地条件とケアプラザまでの距離が遠いことなどから、3カ所の会場でそれぞれ30名程度の参加であるが、少人数だけに暖かい感じで、手作りの料理をだしたり交流を深める活動につながっている。

(2) あなたの提案実現事業報告

<質疑応答>

- マナーの街・感じさせる街づくり事業は、街の魅力創造研究会と夢コミと協働で実施した。おとなだけでなく、根岸小や根岸中や磯子高校でもアンケートの協力が得られ、約700集まり現在集約しているところ。年齢差のあるアンケートを集めることができた。ご協力ありがとうございました。

2 19年度の取り組みについて

- 全体スケジュール
- 18年度からの見直し点について（地区別取り組み・あなたの提案実現事業）
- 地域のしあわせバンク

<質疑応答>

- 支えあい連絡会の事務局をケアプラザで実施してきた。サロン滝さんなども支えあいの活動として実施してきた経過があり、今後予算的には地区別取り組みの中に入れるということだが、地域の推進委員会と支えあい連絡会との調整などはどう行うのか。地区の推進委員会の中に支えあい連絡会が下部組織として入るようなイメージなのか。ケアプラザはスイッチONの事務局としての役割をになうのか。
→地域では地域なりの事情や経過があると思いますが、活動をしていく上で、地域の中で一体的に取り組み考えていく機会を作りながら、進めていただければと思います。地域によつての状況が違うと思いますので、また個別に相談していきたいと思います。
- 5/21の地区推進委員会と地域ケア連絡会の合同会議の場では、意見が出ませんでしたか。
→地域の方々には、整理されて良かったという意見がありました。
- 予算が減額されている理由は。

	<p>→地区別取り組みと支えあい事業に関しては、昨年度の実績が 135 万円であった。提案事業に関しては、新規事業は 20 万円で 3 事業、継続事業は 10 万円で 5 事業と考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回にしあわせバンクの計画や報告が出てくると思っていて良いか。 →そうなるように考えています。 ・ サロンの件について、現在地域活動ホームいぶきをサロンの会場として借りているが、場所的に不便なことと内容に課題があったためか 1 年間で延べ 100 人くらいの参加に終わった。サロンでのおしゃべりだけでなくウォーキングや料理などを組み合わせて内容が膨らんだら参加者も増えてきた。 →参加者のニーズに対応したという事ですね。 <p>高柳担当部長あいさつ</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議資料 2 磯子区地域福祉保健計画地区別重点的取り組み事業助成金交付要綱 3 磯子区地域支えあい事業実施要綱及び助成金交付要綱 4 磯子区あなたの提案実現事業助成金交付要綱 5 広報よこはま磯子区版 5 月号 6 福祉保健センター事業概要